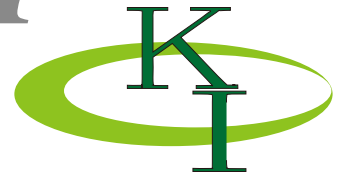


KI News & Topics

Irregular Newsletter vol,14



大木記念女性のための菊池がんクリニック・ストレスケアセンター
〒359-1133 埼玉県所沢市荒幡111-1 Tel/04-2928-7311 Fax/04-2928-7306

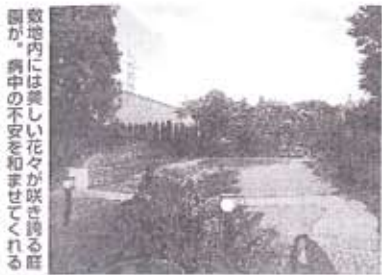
菊池がんクリニックが「週刊女性」で紹介されました。

「大木記念女性のための菊池がんクリニック」▼菊池義公院長
「家族への影響も大きい、女性のガン」は
「通院治療で、夫や子どもとの生活を重視」



性患者が訪れる。
「当クリニックは外来での化学療法がメイン。患者さんには普段どおりの生活を送りながら、定期的に通院して抗がん剤を点滴していただきます」
一般にガンの治療は長期にわたる。入院を繰り返すことも珍しくない。ガンは患者本人が受ける衝撃や苦痛も大きい。その家族に与える負担も計り知れないのだ。もし一家の家事を担ってきた女性が長期入院、入院のために家を空けざるをえなくなったら？その影響は想像に難くない。
「入院は手術が必要な場合だけ。提携先の病院で私が執刀して、最小限の入院日数ですませます。そうすれば生活の質を落とすことなく、金銭的な負担も軽減できます」

40 OVERは女性がいちばんガンにかかりやすい年代。と同時に、家事に子育てにと多忙を極める時期でもある。「ガンの治療しなければならぬいからといって、子どもとお母さんを引き離すことは、できればしたくありません。子育てが一段落した女性にとっても、夫が定年を迎え、子どもが結婚して、孫が生まれ……というように、ライフイベントがめぐる押しつ時期。そんなときに長期の入院をすれば、生活の質を落とします」
そう話すのは、「女性のための菊池がんクリニック」の菊池義公院長。乳ガンや子宮ガンといった女性特有のガンをはじめ肺ガン、大腸ガンなど、女性に多いガンの治療を行う専門クリニックだ。
セカンドオピニオンを求め、他院で余命宣告された人、先端医療に期待を寄せた人……さまざまな理由から、菊池院長のもとには多くの女



女性たちが日常生活を送りながら、それぞれに合ったベストの治療を受けられる。それが菊池院長のモットー。同クリニックでは通院時を除き、患者は思い思いの時間を過ごすことができる。子どもと過ごしたり、夫婦や友人との旅行を楽しんだり。認知症の夫の介護にあたる人もいる。末期状態にあった患者は、娘に子どもが生まれるまで、娘に子どもが生まれる孫を胸に抱いてから亡くなったという。いずれも通院治療だからできたことだ。
「生活の質を考慮するうえで、患者さんが自由にどこにでも行けて、好きなことができる」

7月10日発行の週刊誌「週刊女性」・OVER40のための女性にやさしいクリニック厳選60」というコーナーに当クリニックが紹介されました。美容院や歯科の

お知らせ

当クリニックのホームページをリニューアルしました。
<http://www.kikuchiclinic.com/>をご覧ください。
「菊池がんクリニック」でも検索いただけます。

菊池院長の著書
「婦人科がん 化学治療の最前線」
(悠飛社刊 定価1,680円)を発売中です。詳しくは受付にて。

ことが大事なのです。生きていたいという意志や治療のモチベーションにもつながる」
患者にとって一番いい治療をするには、患者の話をよく聞き、これまでどのような生活を送ってきたのか、知らなければならぬ。
「初診には最低でも1時間はかけます。患者さんの置かれた状況や背景を見つうえて、
待合室などで目にされた方もいらしゃるかと思いますが、ここに当クリニックの記事の部分を転載させていただきます。
現在の治療に不安や疑問をお持ちの方、自分らしい生活を保ちながら治療していきたいという希望をお持ちの方に、広く当クリニックの治療方針や理念、院長の考え方を知っていただければ幸いです。

